



11月になり、秋を満喫しようと思っていたら、冬を思わせるような日が続いています。今年の秋は短かったと思う中、外を眺めると木々が色づき紅葉が美しい景色となっています。先日の三連休には、紅葉狩りを楽しんだ方も多かったのではないのでしょうか。

最近、山茶花のつぼみを見かけるようになり、やはり秋も終わりかなと感じるこの頃、インフルエンザの流行も始まっているようですので、皆さま体調には気を付けてお過ごしください。

このコミュニティ・スクール通信は、コミュニティ・スクールを知っていただく機会として、各学校の取組みについて、毎月紹介していきます。今月は湊山中学校区です。

就将小学校

【1年生 昔遊び 体験交流会】

今年も地域のボランティアさんのご協力をいただき、「昔遊び」を体験しました。

当日は「けん玉」「こま」「おはじき」「あやとり」「お手玉」のブースに分かれ21名の名人さんに教えていただきました。

かわいい1年生と一緒にあそび、無邪気な笑顔に癒され、子どもたちと大人がふれあい、温かい言葉が飛び交う教室。心がほっこり優しくなりました。名人さんに丁寧に教えていただき、昔遊びにはまってしまった児童もいて「もっとやりたい」「もっと上手になりたい」と時間を忘れ楽しく夢中になった姿に、名人さんも大満足でした。



【6年生 トートバック制作ミシンボランティア】

9月～10月にかけて、児童5～6名のグループに2～3名のボランティアがつき、トートバックを制作しました。優しい励ましとアドバイスのおかげでトートバックが完成。「できました！」の声に「おみごと」と思わず手をたたいて喜び合いました。連日参加いただいたボランティアさんとは顔の見える関係となり、親しくお話をする姿も見られる愛おしさを感じました。

完成した「マイトートバック」を使っている姿が見られたらうれしいな。



推進員のおもい

地域の子どもたちの学びの一助を学校・地域・家庭が担う。そんな大人の姿を見て育った子どもたちが大人になった時、あたりまえのようにボランティアとして参加できる、そんな恩送りができるといいなと思う。「できる時に できる人が できることを」を合言葉に！

新しいボランティアさんが加わり、少しずつコミュニティ・スクールが地域に浸透していくように健全な心と身体で学校と地域・保護者をつなげていきます。

明道小学校

～一緒にできることから始めよう～

明道小学校では、「楠のようにかしこく やさしく たくましく大きく伸びる明道の子」を教育目標に、今年「美しい日本語 思いやる心 誇れる自分 日本一の明道小学校」をスローガンに掲げています。

令和7年7月8日（火）の学校運営協議会では、湊山中学校リーダー研修会で発表する本校の取り組みについて、6年生2名の児童がプレゼンを行いました。自分らしく居られる学校をテーマに調査。その結果から、「気配り、友だちへの気づきが少ない」「悪口がある」を本校の課題として取り上げ、具体的な取り組みとして「コトコレ」（言われてうれしい言葉を集める言葉コレクション。よい言葉を言ったらシールを貼る）、「やさしさカウントアップ」（学校スローガンに色を塗る）を行っているとのことでした。子どもたち自らが考え、めざす学校づくりに取り組んでいる姿が見られました。

また、「あいさつの町 明道」をめざし、“あいさつ運動”に取り組む他、学習ボランティア、読み聞かせ、登下校の見守りなどで、委員を中心とした多くの地域の人々にお世話になっています。令和7年8月25日（月）には、学校運営協議会委員の方々と教職員との顔合わせを行いました。雑談を交えたミニ熟議では、「地域との関わりを深めたい」「子どもたちに様々な経験をさせたい」「地域の伝統文化、専門的なことを学習につなげたい」といった言葉が聞かれました。今後も学校と地域、大人と子どもが共に協力し合って、子どもたちの心身の成長、学びへと繋がっていくことを期待させてくれる顔合わせでした。



学校をよりよくする取組みをサミットで発表



ちいさなたね（読み聞かせ）



一緒に校外学習（3年）



CS委員と職員との顔合わせ

湊山中学校

今年度第2回学校運営協議会の目玉企画は、学校運営協議会委員さんと生徒代表による熟議！
「誰もが住みたくなる校区にするために」をテーマとして世代を超えて話し合いました。

生徒たちの意見や討議の質の高さ、優れた発表内容に感動したという委員の皆さんの意見を多くいただきました。今後は今回話し合われた内容をできるところから広げて行きたいと思います。



9月・10月に開催された就将地区大運動会、明道公民館祭、就将公民館祭に20～30名の生徒がボランティアとして参加しました。

お手伝いとしてのボランティア、ブースの企画運営などとてもよい経験をさせてもらいました。

地域の方から「中学生のおかげで助かった」「中学生がいなくなりたい」というようなお褒めの言葉をたくさんいただき本当にうれしく思いました。これからも地域とともに成長する生徒、学校でありたいと思います。



お知らせ

コミュニティ・スクールのロゴマーク及びキャッチコピー決定

コミュニティ・スクール制度化20周年を記念し、コミュニティ・スクールや「地域とともにある学校」を表現する作品を通じて、コミュニティ・スクールへの理解と関心を高め、コミュニティ・スクールのさらなる導入促進、取組の質的向上につなげるため、文部科学省が全国の公立学校園に在籍する幼児・児童・生徒の皆さんを対象にロゴマーク・キャッチコピーを募集し、応募作品の中から、左記のようにロゴマーク及びキャッチコピーが決定しました。

このロゴマーク及びキャッチコピーは、コミュニティ・スクール通信にも掲載していきます。是非、覚えてください。



学びの輪、
地域の和。
未来へ繋ぐ



～令和7年11月末発行～

(お問い合わせ) 生涯学習課 23-5442、学校教育課 23-5435